

学校評価報告書

深谷市立常盤幼稚園  
園長 白井 裕一

- 1 **学校評価のねらい**（園としての受け止め）
  - ・園としては、学校教育法・学習指導要領に従って、園の教育目標達成に向け園の経営に努力し改善に努める。その運営において、保護者の意向を大切にしながら、地域との連携・協力による開かれた幼稚園となるように努力していく。また、職員の意識を高め、自らの教育活動の質を向上させていくことも、ねらいとしている。
  
- 2 **評価の方法**（自己評価・学校関係者評価・第三者評価の別、回数、方法等）
  - ・職員による自己評価・保護者による関係者評価を実施している。
  - ・回数は、年2回、アンケートを実施している。
  
- 3 **評価の結果**
  - (1) 主な指標の変化
    - ・教育課程の視点  
「幼稚園に行くことを楽しみにしている」が98%、「大好きな友達がいる」も90%であった。また、教育活動について満足しているが、98%だった。
    - ・教員育成の視点  
「子供たち一人一人を大切に指導している」は、100%であった  
「健康・安全に配慮し指導しているか」は、2回とも100%であった
    - ・開かれた園運営の視点  
「職員に相談しやすい」は、1回目は98%で2回目は100%であった  
「保護者との連携を大切に・・・」と感じている保護者が2回目は100%であった。
  
  - (2) 学校教育目標の具現化に向けた指標
    - ・幼児と職員の信頼関係が成り立っており、保育が充実している
    - ・保護者との信頼関係においても、園の様子を適切に伝えている、相談しやすい、信頼関係が成り立っている。
  
  - (3) 学校研究課題の具現化に向けた指標
    - ・「豊かな心と健康な体の育成」という目標において、「健康な体と豊かな心の育成」では100%であった。本年度の研究課題の食育については、園での取り組みとしては、たくさんの食に関する感動体験ができ、幼児の食に対する意識が変化してきたことを実感できていたが、家庭では、食に対する意識が低い傾向にあるので、今後も家庭と連携していきたい。
  
- 4 次年度に向けての展望
  - ・安定した情緒のもとで自己を伸び伸びと発揮し、主体的に活動できる幼児の育成に力を入れ、取り組んでいきたい。